

千葉県ゆかりの 協力隊名鑑

2023年7月派遣

吉野 葵

隊員

千葉市



ナミビア共和国
エロンゴ州ウサコス市

ナミビア共和国について

面積：82.4万km²（日本の約2.2倍）

人口：257万人

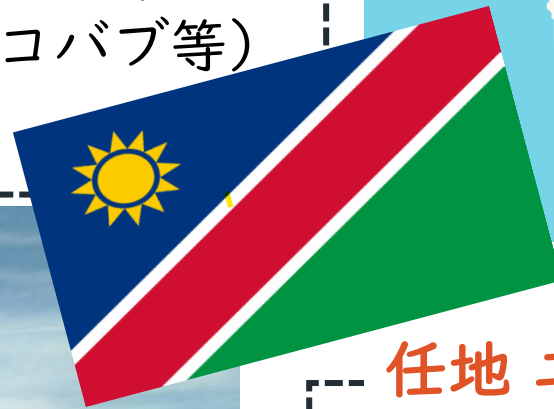
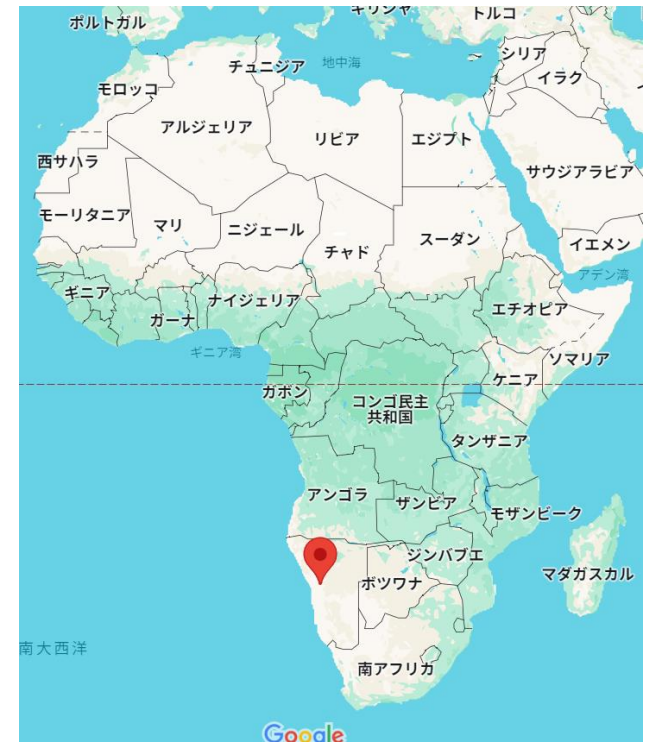
日本人の数：30人

首都：ウィントフック

民族：オバンボ族、カバンゴ族、ヘレロ族、ダマラ族、混血、白人他

言語：英語（公用語）、アフリカーンス語、その他部族語（オシワンボ、コエコエコバブ等）

宗教：キリスト教、伝統宗教



任地 エロンゴ州ウサコス市について

任地人口：約3500人

首都からのアクセス：車で2時間半

庶民の足：徒歩、車、タクシー、シャトルバス

物価：コーラ1本100円、きゅうり1本160円、卵18個500円

ナミビアで
何をしているの？

小学校で算数などを教えています。

全校児童350人ほどのエロンゴサ小学校という公立の小学校に勤め、4年生の算数、4～7年生のアーツ（情操教育）、7年生の情報の授業を担当しています。ナミビアの小学校では、学年末の成績によって進級できずに同じ学年を繰り返す子供もおり、特に算数の成績が悪く落第する子供が多いことが問題となっています。子供たちが、数の概念や基礎的な計算能力を身に付けられるよう、指導方法や教材を工夫しながら日々授業をしています。また、算数に苦手意識がある子供が多いので、少しでも算数を楽しいと感じてもらえる



よう、ゲームを通して楽しく算数が学べる「放課後算数クラブ」を現地の先生と一緒に立ち上げました。毎週このクラブを楽しみにしてくれている子供たちがいて、やり甲斐を感じています。



お気に入りグルメ

ナミビアはお肉の種類が豊富で、オリックスやクドウといった日本では食べることのできないゲームミートも食べることができます。どれもとても食べやすく美味しいです。また、ローカルフードの「モパネワーム」というガの幼虫が個人的にとっても好きです。タンパク質が豊富で体にも良いそうです。エビの唐揚げのような食感でビールのお供にピッタリです。

ナミビアという名前の由来はナミブ砂漠の「ナミブ」で、「何もない」という意味の言葉です。ナミビアの国土面積は日本の2.2倍ですが、人口は日本の50分の1です。人口密度は世界で2番目に低いといわれています。広大な土地の中にポツンと町があるというつくりなので、隣町へ行くだけでも、何もない土地を何時間か（近くて30分）車で移動する必要があります。

「何もない」国



たくさんの民族が共存する国



ナミビアに来て、「日本も中国や韓国と一緒に生活しているの?」「日本語だけでなく中国語や韓国語も話されているの?」と聞かれることが多くあります。ナミビアは様々な民族が同じ町で共存していて、知らない言語が飛び交うことは日常です。ナミビアの約半数を占める民族はオバンボ族と呼ばれる民族で、濃いピンクの伝統衣装が特徴的です。